## 大学院「システムソフトウェア特論」(H21年度前期)(試験問題)

- 試験日:2009年7月13日(月)8:40-10:10,シス情大講義室(W2, 3F)
- ・ 全ての資料は持ち込み OK (但し、パソコン、携帯電話は使用禁止).
- ・解答用紙は3枚なので、裏も使用してよい.

## ■下記の6問全てに解答せよ.

- (1) カーネルデータ構造の統一性について、下記の問題に答えよ、対象マシンは、単一プロセッサシステムとする.
- 1) どのような場合に、統一性が壊れるか可能性があるか?
- 2) また、その契機を分類し、各々の場合への対処方法を示せ、
- (2) 共有メモリ型マルチプロセッサにおいて、(初期の) UNIX を実装したとする。本 UNIX では、1つの仮想アドレス空間と1つのコンテクストを一体化させた UNIX プロセスのみをユーザに提供しているとする。この環境において、並列処理の軽さの観点から、問題点を述べよ。また、軽い並列処理環境を提案し、その利点、欠点を述べよ。
  - (3) NUMA型マルチプロセッサにおけるスケジューリング方式を自分で提案し、その利点、欠点を述べよ.
- (4) キャッシュが装備されている共有メモリ型において、単にテストアンドセット命令を用いたスピンロックでは、 スピードの観点から効率が悪い、なぜか? その理由を述べよ、また、これを改善した方法を示せ、
- (5) 2つの周期タスク P1,P2 のタスクセットを考える. ここで、P1=(3, 5)、P2=(2, 7)とする. 但し、(実行時間、周期). このとき、このタスクセットに関して、次のリアルタイムスケジューリングでスケジュール可能か否かを判定せよ. また、スケジュールの時間的推移を示せ、
- 1) レートモノトニックスケジューリング (Rate Monotonic Scheduling)
- 2) EDF スケジューリング (Earliest Deadline First Scheduling)
- (6) 組込みシステムの夢を語れ.